

第9回 日本脳脊髄術中モニタリング研究会

『合併症に学ぶ』

会 期：2024年9月8日（日）

会 場：シェーンバッハ・サボー（砂防会館） 2階 穂高
〒102-0093 東京都千代田区平河町 2-7-4

当番世話人：諏訪赤十字病院 脳神経外科

後藤 哲哉

参会費：5,000円

【研究会に関するお問い合わせ先】

諏訪赤十字病院脳神経外科
第9回日本脳脊髄術中モニタリング研究会事務局
〒392-8510 長野県諏訪市湖岸通り5-11-50
TEL: 0266-52-6111(代)

【代表世話人および事務局】

関西医科大学附属病院 整形外科 齋藤貴徳
日本脳脊髄術中モニタリング研究会事務局
TEL: 072-804-0101, FAX: 072-804-2064

ご挨拶

本会は術中モニタリングを行う方々の資質の向上を目指して始まりました。ほぼ10年経過しその期間中には、「術中脳脊髄モニタリングの指針2022」の出版、認定医、認定技師制度の発足等、ゆっくりではありますが着実に術中モニタリングは一般化、標準化されてきています。測定方法についてはおおまかですが基準ができあがりました。一方いまなお、波形の変化への対応については判断、解釈にばらつきが存在し、現場で問題となっていると認識しています。主題とした「合併症に学ぶ」には、皆さんが悩んでも解答が出ない問題を議論したいと思いつけさせていただきました。もちろん議論しても答えは出ないのですが、すこしでも新しい考えにつながっていければよいと思うのです。皆様のたくさんのご参加をよろしくお願い申し上げます。

第9回日本脳脊髄術中モニタリング研究会
当番世話人 後藤 哲哉
(諏訪赤十字病院 脳神経外科)

ご案内とお願い

I. 参加者の皆様へ

- 1) 当日会場受付にて参加費（5,000 円）の納入をお願い致します。
- 2) 質疑応答は活発にそして簡潔をお願い致します。
- 3) クロークはございません。

II. 演者の皆様へ

1) 発表時間

セッション	発表（講演）	質疑応答
シンポジウム	7分	8分

2) 発表はすべてご自身のノートパソコンによる発表のみで一面映写です。ご自身のノートパソコンを必ずご持参ください。発表は、ご自身のノートパソコンをご登壇の際にご自身で接続していただき発表時のPC操作もご自身で行っていただく形となります。また、現地での試写はできませんのでご注意ください。

- ① 会場のプロジェクターへは、一般的な外部出力端子(D-sub 15pin)、あるいはHDMI端子での接続となります。一部のノートパソコンでは本体付属のコネクタが必要になる場合がありますので、必ず持参してください。
- ② 音声の利用はできません。
- ③ スクリーンセーバーや省電力設定など、発表の妨げとなるツールは予め解除してください。Macintoshをお持込みいただく場合はホットコーナー設定もあらかじめ解除してください。
- ④ ACアダプター、電源ケーブルは必ずご持参ください。
- ⑤ 会場にて用意したプロジェクターと接続ができない場合に備え、バックアップ用のデータをご持参されることをお勧めいたします。

III. 座長の先生方へ

活発な討議になりますよう、また先生の座長時間以内に終わりますよう、お願いいたします。

交通のご案内



アクセス MAP 東京都千代田区平河町 2-7-4 (別館)

TEL: 03-3261-8386 (代表)

FAX: 03-3261-5449

E-mail: kyokai@sabo.or.jp

最寄駅 有楽町線・半蔵門線「永田町駅」出口4より徒歩1分
有楽町線・半蔵門線「永田町駅」出口9bより徒歩4分
南北線「永田町駅」出口9aより徒歩4分
有楽町線「麹町駅」出口1より徒歩9分
半蔵門線「半蔵門駅」出口1より徒歩9分
有丸ノ内線・銀座線「赤坂見附駅」出口7より徒歩6分

第9回 日本脳脊髄術中モニタリング研究会プログラム

10:30- 受付開始

11:00- 11:05 開会の挨拶

担当世話人 後藤 哲哉 (諏訪赤十字病院 脳神経外科)

11:05- 11:45 特別講演

座長：後藤 哲哉 (諏訪赤十字病院 脳神経外科)

日本臨床神経生理学会「認定医認定技師試験について」

1. 東京医科歯科大学大学院先端技術医療応用学講座 川端 茂徳
2. Brain function 丸田 雄一

11:55- 12:55 【ランチョンセミナー】

座長： 谷口 慎一郎 (関西医科大学附属病院 整形外科)

世界の術中モニタリングの現状

飯山赤十字病院 脳神経外科 兒玉 邦彦

13:05- 15:25 【シンポジウム】 合併症に学ぶ

座長：後藤 哲哉 (諏訪赤十字病院 脳神経外科)

[指定コメンテーター]

福多 真史	国立病院機構西新潟中央病院
谷口慎一郎	関西医科大学整形外科
田中 聡	信州大学医学部麻酔科
高谷 恒範	奈良県立医科大学麻酔科学教室中央手術部

1. 髄内脊髄腫瘍手術における運動誘発電位モニタリングの問題点

○黒川龍

獨協医科大学脳神経外科

2. 脳脊髄モニタリング中の波形変化とその影響についての検討

○井原 帆乃香¹⁾、横塚 恵理子¹⁾、佐藤 尚¹⁾、布谷 大輔¹⁾、森 英輝¹⁾、玉城 瑛信¹⁾、藤井 暁¹⁾、餅田 裕太¹⁾、山田 大貴¹⁾、丸山 悟¹⁾、安藤 鉄弥¹⁾、千葉 百華¹⁾、大川 修¹⁾、赤澤 努²⁾、村田 英俊³⁾

1) 聖マリアンナ医科大学病院 臨床工学技術部

2) 聖マリアンナ医科大学 整形外科

3) 聖マリアンナ医科大学 脳神経外科学

3. Supine-lateral position で難聴を来した片側顔面痙攣 ABR のピットフォール

○藤井雄、後藤哲哉、窪田雄樹、丸山拓実、阿部大志郎、堀内哲吉

信州大学医学部脳神経外科

4. 微小血管減圧術中に聴性脳幹反応波形が消失したが、術後難聴にならなかった 2 症例

○鈴木真紀子、中谷亮太、高岡伸次

聖隷三方原病院 臨床工学室

5. Facial MEP 波形変化の解釈に苦慮した聴神経鞘腫の 2 例

○板倉 毅¹⁾、埜中 正博²⁾

1) 関西医科大学整形外科

2) 関西医科大学脳神経外科

6. 大脳鎌髄膜腫の術後に片麻痺が出現した 1 例

○奥山 里沙¹⁾、加藤 タ子¹⁾、成田 悠香¹⁾、須釜 大輔²⁾、竹下 裕³⁾、
佐藤 拓³⁾、板倉 毅⁴⁾

1) あづま脳神経外科病院 臨床検査科

2) 臨床工学科

3) 脳神経外科

4) 関西医科大学 整形外科

7. MEP モニタリング偽陽性の原因としての Anesthetic fade の原因と回避

○田中 聡¹⁾、冨尾 亮介²⁾、吉田 信介³⁾

1) 大久保病院 脳神経外科

2) 本庄脳神経外科・脊椎外科脳神経外科

3) 埼玉医科大学総合医療センター脳神経外科

8. 多発性脳梗塞発症後の胸腹部人工血管置換術において Tc-MEP が偽陽性となった症例

○横塚 恵理子¹⁾、井原 帆乃香¹⁾、佐藤 尚¹⁾、布谷 大輔¹⁾、森 英輝¹⁾、
玉城 瑛信¹⁾、藤井 暁¹⁾、餅田 裕太¹⁾、山田 大貴¹⁾、丸山 悟¹⁾、安藤
鉄弥¹⁾、千葉 百華¹⁾、大川 修¹⁾、千葉 清²⁾

1) 聖マリアンナ医科大学病院 臨床工学技術部

2) 聖マリアンナ医科大学 心臓血管外科学

9. 「合併症に学ぶ」

吉谷健司

15:25- 15:30 閉会の挨拶

担当世話人 後藤 哲哉 (諏訪赤十字病院 脳神経外科)